



よりそって

『愛の手で みんなで支える 住みよい地域』

小諸市民生・児童委員協議会 広報部会

つながる私とあなた

～第8回～ 民生・児童委員になって

【東部地区】

民生・児童委員になって2年が過ぎました。最初は内容も分からなくて不安でしたが、研修会で経験者の話を聞いて様子が分かってきました。紺屋町区では、一年間に介護予防教室を5回、健康達人区らぶを2回、給食会を3回開催しています。運動、歌、ゲーム、食事会と毎回楽しく行っています。他には、介護予防活動としてパッチワーク等を毎月1回有志で行っています。区内の先生に教えてもらい、話をしながら手先を動かして、楽しい時間です。

私の担当している友愛訪問は5件で月2回伺って沢山話をしてきます。皆さんお元気で私も気持ちが明るくなります。これからますます高齢化になりますが、大勢の人と会話をして、元気に皆さんと楽しみたいと思います。



紺屋町区民生・児童委員 小山茂子

地域の他活動との両立を実践した夜の定例会

昨年11月に長野県民児協だより「つなぐ」の取材を受けた西部地区の民生児童委員の地区会について紹介します。

地区会とは、理事会や各部会・社協や市役所の各課からの報告・協議等、会長が用意した会議資料に基づいて行います。時に、「高齢者誰が支える」「県内小中不登校7000人超」といった新聞記事も取り上げます。

フリートークの時間では、各々が抱える問題について解決の糸口を探ったり、肩の力が抜ける様な会話もされます。

取材を受けた人のコメントから

・自分の訪問を心待ちにしている人がいて、やりがいを感じています。

・ふれあい給食会等の私たちの活動に、沢山の人に参加してもらえると嬉しいです。

・子供たちから、自分の顔を覚えて声を掛けてもらえるように、積極的に関わりたいです。

・相手の気持ちになって、心配り、気配り、目配りをしていきたいです。

・地域のつながりの一つとして、私たちも大きな役割を担っていると感じています。等々

紹介動画は、「つなぐ」157号に載っているQRコードをスマートフォンで読みとりのほか、長野県民児連ホームページからも視聴可能です。是非ご覧下さい。

古城区民生・児童委員 掛川富子



研修報告 小諸学舎訪問

「身近にある施設を知ろう」ということで、東南部地区は10月17日参加者18名で、「小諸学舎」へ研修に行ってきました。周囲は一面の広い畑、すぐ目前に浅間山と絶景の中にあいました。

障がいを持つ「入所の人、通所の人、グループホームの人」それぞれに合わせた日課のもと、作業ではカフェ、漬物工場、パン、クッキー工房、生ごみ袋の補正、ダンボール箱の型抜きなど色々あり、皆楽しそうに作業をしていました。「カフェこひつじ」での昼食はとても美味しかった、秋の一日良い研修でした。

東小諸区民生・児童委員 寺島英子



聴覚障害者マーク

聴覚障害であることを理由に運転免許に条件を付されている方が運転する車に表示するマークです。



危険防止のためやむを得ない場合を除き、このマークを付けた車に幅寄せや割り込みを行った運転者は、道路交通法の規定により罰せられます。



かりがね学園の前で

「共に働き共に暮らす」そして、その人の一生を考え、個々を大切にしているとのこと、障がいを持った方が普通に生活できる世の中になるように、まわりで支えていくことが大切だと思いました。私たち民生・児童委員も地域で出来ることからやっていきたいですね。糠地区民生・児童委員 片桐喜美江

研修報告 やまびこ農場とかりがね学園
川辺地区、南大井地区、大里・西小諸地区の三地区で、「やまびこ農場」と「かりがね学園」へ研修旅行に行ってきました。
施設の成り立ちや状況などをお聞きした後、やまびこ農場で働いている姿を拝見し、りんご狩りを楽しませていただきました。
かりがね学園では、学園内を案内していただき、とてもきれいに整っていて、入所者の方とスタッフの笑顔がとてもステキでした。
「共に働き共に暮らす」そして、その人の一生を考え、個々を大切にしているとのこと、障がいを持った方が普通に生活できる世の中になるように、まわりで支えていくことが大切だと思いました。私たち民生・児童委員も地域で出来ることからやっていきたいですね。糠地区民生・児童委員 片桐喜美江



やまびこ農場りんご園

大切な事を伝えるために

11月28日に、広報部会主催の研修会が行われました。講師は、市民の多くの方に親しまれている「広報こもろ」の担当者である企画課広報係の小山祥平さんです。

分かりやすい文章の書き方、見やすいレイアウトなど広報作成の秘訣を教えてください大変勉強になりました。

「よりそって」で、様々な地域の活動を発信していくことで、民生児童委員がどんな存在か知ってもらい、困りごとがあっても各地区に必ず身近に相談相手がいるという事や、介護予防教室など誰でも気軽に参加できることなど、大切な情報を皆様にお知らせしていきたいと思います。

ひばりヶ丘区民生・児童委員 大塚典子

